

寄稿

新宮山彦ぐるーぶ 湯川 一郎

上葛川から笠捨山・地藏岳・香精山周回（日帰り）

◇実施日；平成27年5月2日（土） 天候；快晴

今年4月4日に大阪の青木宏充さんが上葛川から旧郵便道を経て笠捨山、行仙宿泊。翌5日に地藏岳・香精山を経て21世紀の森を巡視された記録を拝見したことから、一度歩いてみたいという気持ちに駆られ、5月の連休の1日を利用して出かけた。

また、ガイドブックとして、新宮山彦ぐるーぶ会員の先輩である森沢義信氏の著書「奈良80山」を参考にした。

新宮5:00発、十津川村滝経由で上葛川の林道終点に6:28着。起伏の少ない山道を沢の音を聞きながら進み、岩間から流れ落ちる一条の滝に7:30着。

送電線巡視路の分岐（28鉄塔と29鉄塔の分岐）に8:16着。青木さんの記録にあるように朽ちかけている栈橋があるものの、慎重に歩けば問題ない。地藏岳への分岐に8:29着。石柱が倒れている。平らな箇所に移動させたいが、一人では持ち上げて運ぶことができないので、平らな石を石柱の下へあてがい応急措置とした。



地藏岳分岐の石柱

葛川辻に9:25着。笠捨山から下ってきた登山者に、上葛川のルートや水場のことについて聞かれる。ここから急登が始まり、笠捨山に10:00着。小蠅がまとわりつき、おにぎりを食べようとすると一緒に口に入ってきた。申し分ない天気です。笠捨山山頂からの展望は、これまでの笠捨山登山の中で最高であった。



笠捨山山頂から釈迦ヶ岳方面の展望

笠捨山山頂でも吉野方面からの登山者に上葛川へのルートについて聞かれた。皆さんどうやら疲れがたまってきた様子で、地藏岳をエスケープしたいらしい。南奥駆道中の難所であり重要なポイントだと思ふのだが。山頂を10:25発。

葛川辻に10:50着、地藏岳への登りに取りつく。数組の軽装の登山者とすれ違う。青木さん及び当ぐるーぶによる連休前の点検巡視が行われているので、鎖場も安心して登下降できた。右側の樹幹から中八人山が見える。数年前に藪漕ぎ覚悟で単独

で入ったが、スズタケが枯れており肩すかしを喰らった記憶がある。

地蔵岳に 11:37 着。四阿之宿、拝返し、上葛川への分岐を通り、香精山に 12:56 着。香精山から 25 分程のところまで右に急下降となるが、正面には直進しないよう倒木で塞がれている。

貝吹野を通過し、塔ノ谷峠（貝吹金剛）に 13:34 着。奥駈道から別れ、左側の塔ノ谷を下る。間伐された谷間を下り、一部ルートが不明瞭な箇所があるものの、無事に集落に出ることができた 14:38 着。

葛川上流に向かって林道を歩いていくと、今は営業されていない「民宿うらしま」の横を通り、林道終点に 14:54 着。

車を走らせようとしたとき、沖崎さんから「行仙宿管理棟屋根のペンキ塗替えで塗料が不足しているので、明日、行仙宿に入る際に運んでほしい。」との一報が入る。

新宮下田の沖崎さん宅 16:45 着。ペンキ塗料を預かった。今日は天候にも恵まれ、久しぶりに大峰の山を堪能することができた。